

■コメント

1 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)

定点当たり14.69人の報告があり、増加が続いています。お盆の帰省や旅行等により、普段会わない人と会うことで感染を広げてしまう可能性があります。帰省や旅行前から、いつも以上に感染予防を心がけましょう。また、体調がすぐれない場合は、帰省を控えましょう。

移動先でも、換気、マスクの効果的な場面での着用、手洗いなど、基本的な感染対策を徹底しましょう。

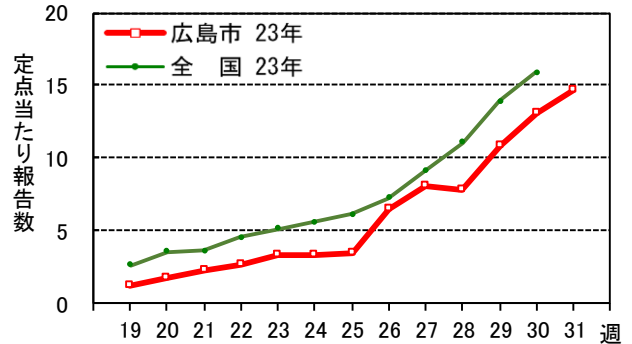
2 梅毒

今年の累計は180件となり、非常に多い状況が続いています。梅毒は性的な接触により感染し、治療せずに放置すると、脳や心臓などに重大な病変を起こすことがあるため、早期発見・早期治療が大切です。

3 レジオネラ症

3件の報告があり、今年の累計は26件となりました。(次ページ参照)

新型コロナウイルス感染症の流行状況



保健センターの無料・匿名の梅毒検査

広島市の各区保健センターでは、無料・匿名の梅毒検査を実施しています。

詳しくはホームページをご覧ください。

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/72/2986.html>



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平過去5年(注年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平過去5年(注年間)	発生記号	増減		前週と比較しておおむね
												急増減	増減	
インフル	インフルエンザ	16	0.44	0.12	↓	小児科	ヘルパンギーナ	44	1.83	0.82	↘	急増減	↑	1:2以上の増減
	新型コロナ (COVID-19)	529	14.69		↗		流行性耳下腺炎	1	0.04	0.04		増減	↘	前週と比較しておおむね 1:1.5~2の増減
小児科	RSウイルス感染症	21	0.88	3.30	↘	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-		微増減	↔	前週と比較しておおむね 1:1.1~1.5の増減
	咽頭結膜熱	7	0.29	0.40			流行性角結膜炎	5	0.63	0.43		横ばい	↔	ほとんど増減なし
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	49	2.04	1.05	↔	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-		報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。		
	感染性胃腸炎	60	2.50	2.87	↘		無菌性髄膜炎	-	-	0.03		インフルエンザ/COVID-19定点数 (小児科定点を含む) 36		
	水痘	2	0.08	0.10			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.03		小児科定点数 24		
	手足口病	33	1.38	2.19	↘		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	-	-	-		眼科定点数 8		
	伝染性紅斑	-	-	0.12			感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	-	-	-		基幹定点数 7		
	突発性発しん	7	0.29	0.30								(注) 過去5年間の同時期平均 (定点当たり)		

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	6	79	10歳代・2人、60歳代・1人、80歳代・2人、100歳代・1人
4	レジオネラ症	3	26	60歳代、70歳代、90歳代
5	アメーバ赤痢	1	5	50歳代
5	梅毒	3	180	40歳代・3人

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	報告地	週	インフルエンザ	新型コロナウイルス (COVID-19)	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)	感染性胃腸炎
			広島市	第27週	26	290	57	9	55	110	5	18	-	3	90	-	-	2	-	1	-	-
	第28週	40	279	44	11	71	111	2	27	-	6	97	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-
	第29週	47	388	32	10	41	98	6	26	-	6	83	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-
	第30週	43	469	34	9	51	75	2	43	-	4	76	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-
	第31週	16	529	21	7	49	60	2	33	-	7	44	1	-	5	-	-	-	-	-	-	-
定点当 たり	広島市	第27週	0.72	8.06	2.38	0.38	2.29	4.58	0.21	0.75	-	0.13	3.75	-	-	0.25	-	0.14	-	-	-	-
	第28週	1.11	7.75	1.83	0.46	2.96	4.63	0.08	1.13	-	0.25	4.04	-	-	0.38	-	-	-	-	-	-	-
	第29週	1.31	10.78	1.33	0.42	1.71	4.08	0.25	1.08	-	0.25	3.46	-	-	0.50	-	0.14	-	-	-	-	-
	第30週	1.19	13.03	1.42	0.38	2.13	3.13	0.08	1.79	-	0.17	3.17	0.08	-	0.38	-	-	-	-	-	-	-
	第31週	0.44	14.69	0.88	0.29	2.04	2.50	0.08	1.38	-	0.29	1.83	0.04	-	0.63	-	-	-	-	-	-	-
	全国	第29週	1.56	13.91	2.60	0.50	1.13	3.09	0.11	1.24	0.02	0.24	4.71	0.05	0.01	0.36	0.02	0.04	0.02	-	-	-
	第30週	1.64	15.91	2.25	0.53	1.32	3.26	0.10	1.27	0.02	0.25	4.34	0.06	0.01	0.50	0.02	0.04	0.04	-	-	0.01	

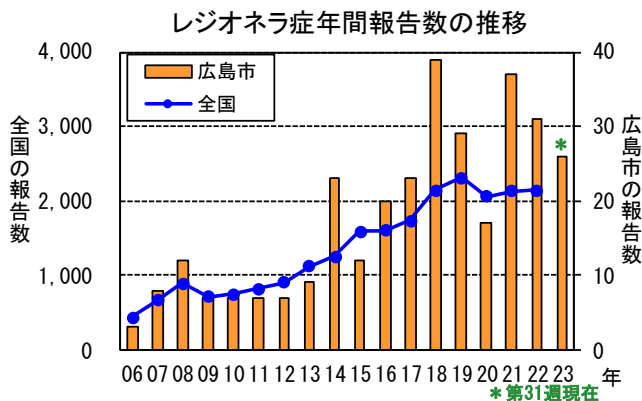
■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査：広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	発症年月日	検査材料	検出病原体
無菌性髄膜炎	発熱(40.7℃) 髄膜炎	不明	2023/06/22	咽頭拭い液 髄液 糞便 尿	コクサッキーウイルスB5型
その他の呼吸器疾患	発熱(38.9℃) 気管支炎	8	2023/05/20	咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス3型
その他の呼吸器疾患	発熱(40.0℃) 気管支炎 鼻炎	2	2023/05/29	気管内分泌物	パラインフルエンザウイルス3型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】広島市におけるレジオネラ症の発生動向について



2023年の累計報告数は第31週で26件となり、これまでで最多の2018年(第31週で24件)を上回るペースで報告されています。

レジオネラ症は、河川や土壌など自然界に生息するレジオネラ属菌による感染症で、レジオネラ属菌に汚染されたエアロゾル(細かい水のしぶき)などを吸入することで感染します。

病型として、重症の肺炎を引き起こす「レジオネラ肺炎」と、一過性で自然に改善する「ポンティアック熱」が知られています。

レジオネラ肺炎は2～10日の潜伏期間の後、咳、38℃以上の高熱、悪寒、胸痛、呼吸困難などの症状が出現します。新生児や高齢者、免疫力の低下した人は、肺炎を起こす危険性が高く、特に注意が必要です。

国内では、循環式浴槽や加湿器の使用、入浴施設による感染事例の報告があり、適切な維持管理が必要です。また、屋外作業中に、舞い上がった土ぼこりを吸い込んで感染することもあるため、必要に応じてマスクを着用しましょう。

【参考】

レジオネラ症Q&A(厚生労働省)
https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_0393.html



レジオネラ症とその予防対策(広島市)
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/72/2990.html>



新型コロナウイルス(COVID-19)感染症の相談窓口

発熱時等の受診相談「受診案内・相談ダイヤル」

TEL 082-241-4566

(24時間対応)

療養者からの相談「療養者相談ダイヤル」

TEL 0570-000-510

(健康相談 24時間、一般相談 8:30～18:00)

「新型コロナウイルス感染症に関する情報」(広島市) <https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/korona/>



本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/infectious-disease/>



【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号

TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp